

令和7年度 身延町水道事業会計 決算要領

1 業務量

(1) 年度末給水人口	9,184人（前年度比較△239人）
(2) 年度末給水戸数	5,901戸（前年度比較△35戸）
(3) 年間配水量	2,149,921m ³ （前年度比較△14,831m ³ ）
(4) 年間有収水量	1,248,809m ³ （前年度比較△29,326m ³ ）
(5) 有収率	58.09%（前年度比較△0.95%）

2 収益的収支の状況（税込）

■ 水道事業収益	629,382,792円
主な内訳	一般会計補助金・負担金266,216,000円、水道料金184,346,710円
■ 水道事業費用	618,595,666円
主な内訳	光熱水費42,678,749円、企業債利息26,574,399円

3 資本的収支の状況（税込）

■ 資本的収入	182,669,000円
主な内訳	一般会計負担金123,784,000円、企業債58,500,000円
■ 資本的支出	322,058,398円
主な内訳	企業債償還金225,255,143円、建設改良費96,803,255円
資本的収入額が資本的支出額に不足する額139,389,398円は、過年度分損益勘定留保資金※ ₁ 33,531,826円及び当年度分損益勘定留保資金※ ₂ 105,857,572円で補填した。	
■ 主な建設改良工事	
下部地区テレメータ装置通信回線更新工事（下部地区）	45,100,000円
※ 中富浄化センターを含む	
横根中地内国道52号水道管布設工事に伴う舗装本復旧工事（横根中地内）	6,405,300円

4 経営成績（損益計算書・税抜）

■ 当年度経常利益（経常収益-経常費用）	14,523,981円
■ 当年度純利益（総収益-総費用）	13,962,492円

5 財産状況（貸借対照表・税抜）

単位(円)

	令和8年3月31日 (A)	令和7年3月31日 (B)	比較増減 (A) - (B)	令和7年度 構成比率
固定資産	6,916,891,069	7,174,611,095	△ 257,720,026	98.13%
流動資産	131,766,510	90,712,885	41,053,625	1.87%
資産合計	7,048,657,579	7,265,323,980	△ 216,666,401	100.00%
固定負債	1,988,948,795	2,169,404,682	△ 180,455,887	28.22%
流動負債	258,613,684	246,606,538	12,007,146	3.67%
繰延収益	1,986,515,682	2,048,695,834	△ 62,180,152	28.18%
資本金	2,708,727,339	2,708,727,339	0	38.43%
剰余金	105,852,079	91,889,587	13,962,492	1.50%
負債資本合計	7,048,657,579	7,265,323,980	△ 216,666,401	100.00%

6 資金の増減（キャッシュ・フロー計算書）

■ 資金期末残高	123,150,125円（期首残高；82,105,926円）
業務活動によるキャッシュ・フロー	182,422,925円の増
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,876,417円の増
財務活動によるキャッシュ・フロー	165,255,143円の減
41,044,199円の増額	

※1 過年度分損益勘定留保資金

資本的収支の補てん財源の一つで、過年度の損益勘定留保資金のうち、未だ補填財源として使用していないものをいう。

※2 当年度分損益勘定留保資金

当年度損益勘定留保資金と過年度損益勘定留保資金に区分される。収益的収支における現金の支出を必要としない費用、具体的には減価償却費、資産減耗費(現金支出を伴う除却費を除いたもの)などの計上により企業内部に留保される資金をいう。